※令和４年度以降入学生用

学校番号	１１１

令和５年度　芸能文化科

教科	芸能文化	科目	舞台芸術論（芸能史）	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本の芸能は、仏教とともに中国大陸や朝鮮半島から伝えられた芸能が日本固有の芸能と結びついて発展してきました。この授業では、伎楽・舞楽（散楽）・能楽・文楽（人形浄瑠璃）・歌舞伎を中心に日本における芸能の歴史や概要について学習をします。
・日本の芸能の発展・推移を時代背景とともに理解するようにしてください。
・能楽・文楽・歌舞伎については、鑑賞行事の事前学習にも繋げてもらいたいと思います。

２　学習の到達目標

（１）　中国大陸や朝鮮半島から伝えられた芸能がどのように日本固有の芸能と結びついて発展してきたかということを理解することを目標とする。
（２）　日本における芸能がどのように推移してきたかを時代背景とともに理解することを目標とする。
（３）　日本の芸能について、その歴史や概要について理解することを目標とする。
（４）　伎楽・舞楽（散楽）・能楽・文楽（人形浄瑠璃）・歌舞伎など、それぞれの芸能の特徴について学び、その面白さを知ることで今後の鑑賞時により深い内容を味わうための教養を身につけることをめざす。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・それぞれの芸能の成り立ちとその特徴を理解することができる。	・日本における芸能がどのように推移してきたかを時代背景とともに理解することができる。	・動画の視聴などをきっかけに、それぞれの芸能に興味を持って主体的に調べたり、クラスメートと意見交換をしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	日本の舞台芸術の特質	「芸術」と「芸能」 日本の舞台芸術の特質 原始芸能時代(4～5世紀)	a:４～５世紀頃の芸能の成り立ちとその特徴を理解できている。 b:日本の舞台芸術の特質について西洋の舞台芸術と比較して理解できている。 c:動画の視聴などをきっかけに、それぞれの芸能に興味を持って主体的に調べたり、クラスメートと意見交換をしたりしようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 授業観察
	大陸芸能輸入の時代	伎楽について 散楽について 舞楽(雅楽)について	a:それぞれの芸能の成り立ちとその特徴を理解できている。 b:日本における芸能がどのように推移してきたかを時代背景とともに理解できている。 c:動画の視聴などをきっかけに、それぞれの芸能に興味を持って主体的に調べたり、クラスメートと意見交換をしたりしようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 授業観察
後期	中世以降の芸能について	能楽について 文楽について 歌舞伎について	a:それぞれの芸能の成り立ちとその特徴を理解できている。 b:日本における芸能がどのように推移してきたかを時代背景とともに理解できている。 c:動画の視聴などをきっかけに、それぞれの芸能に興味を持って主体的に調べたり、クラスメートと意見交換をしたりしようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	レポート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度